

5町民一人、1学習・1スポーツ・1奉仕活動を推進する

主管	教育委員会			教育委員会評価委員
	重点項目	努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	意見
生涯学習課	総合	町PTA連絡協議会活動補助	PTA連絡協議会の活動に対し定額の補助金20万円を交付した。(合併後毎年20万円)	PTAは父兄と先生の会ですから所管を学校教育課へ移管することは妥当だと思います。 PTA連絡協議会活動の充実を図る。夏祭り等は各校区で統一を検討すべき。 所管を明確にするとともに活動内容の把握にも努める必要がある。
		地域ボランティア団体育成補助	町内の7つの団体に対し、定額の補助金を交付した。(1団体3万円)	
	生涯学習推進事業	生涯学習講座開設	英会話、陶芸、水彩画など19の講座を公民館等の施設を利用して実施した。各教室とも講座の内容は概ね好評であったが、中には定員割れした教室もあった。	好評だった講座を増やし自主的運営に発展するよう指導してはどうか。 学習講座は公民館単位で開き指導者に恵まれ充実した内容である。 公民館が地域の生涯学習の拠点として機能できるよう自主的運営体制を構築することが大切
		コミュニティーカレッジ綾川開催	本年度は、陸上自衛隊第14音楽隊(善通寺)の演奏を実施した。非常に好評で会場は満員であった。また、併せて、綾上小学校3年生及び綾南中学校合唱部による合唱も行った。	
		ビデオライブラリー管理貸出	教育委員会事務局に、ビデオ、DVD等を置いて貸し出し管理する。	
	生涯学習課	生涯学習推進事業	文化協会補助	文化協会に定額(200万円)補助を行うもの。文化協会の活動内容は主に、各クラブの活動と、文化事業である。文化事業としては本年度は石見神楽上演会を実施し、非常に好評であった。
青少年教育事業		夏休み子供教室	小学生を対象に、絵画、工作など15の教室を公民館等の施設を利用して実施した。内容については概ね好評であった。	子供たちのコミュニケーションの場としても役立っている。 小学生対象の講座の充実と親子で参加できる講座の新企画もお願いしたい より子供たちの立場に立った援助活動を望みます。 新成人の式典です。温かく見守る必要があると思います。 機能性に優れ安価なものが市販されているので必要性がないのでは。
		放課後子供教室	卓球、ソフトテニス、バスケットボール、の3教室を小学生を対象に実施している。	
		成人式開催	新成人を対象に式典を実施した。対象となる新成人258人うち参加者213人。特に問題もなく運営もスムーズであった	
		野外活動用具の管理・貸出	テント及びはんごう等のキャンプ用具を保管し、貸し出しを行う。貸出先はほとんどが子供会であった。	

		町子供会育成連絡協議会補助	子供会育成連絡協議会に定額(50万円)の補助金を交付した。	健全育成の目的のため子供会活動の見直しは必要だと思います。少子高齢化の進む中どの活動にも見直しは当てはまると思います。小学校統廃合が議論されており子供会活動も変化を求められると思うので今後重要と考えられる。
		町青年会活動活動補助	町青年会に対し定額(19万円)の補助金を交付した。	校区子供会のリーダー育成等活発な活動を望む。青年会活動の啓発、勧誘等会員の増加が必要である。

生涯学習課	青少年教育事業	少年育成センター運営事業	街頭補導と、適応指導教室が事業の主なものである。正規職員1名(所長)と臨時職員1名(指導員)の2名体制で、実施している。補導については、補導員(33人)が班別を実施する補導が年60日、指導員が警察官とともに実施する補導月2回、その他合同補導3回、列車補導3回程度実施している。適応指導教室については不登校の中学生のうち3年生3名、2年生2名の計5名を指導している。3年生については3名とも高校進学の見込みであるが、2年生については2名とも復帰の見通しが立っていない。	今後の環境整備に期待します。育成センター活動の整備が急がれ、育成センターの位置づけが重要となると思われる。少年育成センターと小・中の連携を深め情報交換を密にする。独立した施設は緊急性が高いと思われる。また、運営面の整備を進めていくべき
	人権・同和教育事業	人権作文集作成	児童生徒による人権啓発作品(ポスター、習字、標語等)を文化祭及び人権週間期間中、改善センター等で展示	啓発推進の継続を希望する。人権同和教育のさらなる充実を望む。 広報あやがわの人権・同和教育シリーズは勉強になります。
		人権・同和教育だより作成・配布	坂出、綾歌ブロックで人権をテーマにパンフレットを作成し、町内全世帯に配布し、基本的な人権問題の意識向上を図った。	
		人権・同和教育指導事業	広報あやがわに毎月掲載の「同和教育シリーズ」を執筆しているほか、指導研修等に取り組んでいる。	
		人権・同和教育学習会開催	小学生を対象に集会所等で学習会を実施した。	

生涯学習課	婦人、高齢者教育事業	中央婦人学級開催	毎年、年数回婦人会会員を対象に中央公民館や改善センターを利用して婦人学級を開催している。本年度は5月に香川県の環境政策化から講師を招いて地球温暖化の現状と対策について講義を受け、また11月には姫路方面に環境学習として1日研修を実施するなど、環境問題に重点をおいて事業を実施した。	充実した活動ができていると思います。
		高齢者学級開催及び社会見学補助	各地区公民館で、概ね60歳以上の高齢者を対象に平均月1回の老人学級を開催している。また、年1回バスを利用して社会見学を実施している。	各公民館単位で毎月の学級を楽しみにしており、励みにもなっている。
		婦人会活動費補助	婦人会の活動に対し毎年定額(88万円)の補助金を交付している。	婦人会活動では、若い人たちの参加要請が必要だと思います。参加者が固定傾向にあるとの指摘もあり拡大を望みたい。
生涯学習課	放課後児童クラブ運営費	なかよし学級の開設	父母、祖父母等が勤務や病気などのため放課後養育できない小学1年から3年までの児童を預かるいわゆる学童保育である。最長で午後6時までの保育をしている。また、21年度は初めて夏休み等長期休業中も午前8時30分からの保育を実施した。	施設面の有効利用がされていると思います。指導員確保については学校支援ボランティアの協力をお願いしてはどうでしょうか。施設面での課題は残るが継続して実施を望む。指導員は教員経験者を充てる。指導員の質の向上をめざした取り組みを推進してほしい。ハード面からソフト面の充実を。
	学校支援地域本部事業	学校支援ボランティア	平成20年度から学校・家庭・地域・が一体となって子供を育てる体制を整える「学校支援地域本部事業」に取り組んでいる。現在113名の方が学校支援ボランティアとして登録している。	地域のサポートが軌道に乗るよう期待します。学校、家庭、地域が一体となり子供を育て地域の人に学校を理解してもらうチャンスである。学校現場での活動は守秘義務を守るようお願いすることも大切。学校ニーズと調整を図り、現場に有効な人材を活用されたい。

生涯学習課	公民館管理運営事業	公民館管理運営		
		公民館運営協議会補助・公民館まつり実行委員会補助	綾川町では8地区に9公民館を設置して管理運営を行っている。公民館の管理運営については、建物を維持管理して住民が集まる拠点となることにとどまらず、社会教育法第20条の立法趣旨に基づき、住民の教養の向上と生活文化の振興を図るため事業を実施することが重要である。具体的には、地域活動推進事業を各公民館で実施している。また、公民館運営協議会に意思決定機関としての性格を持たせることで教育委員会からある程度独立し、自主的に運営が行われ地域の特性を生かせるよう工夫している。	各公民館は、地域の特性を生かし、夏祭り、文化祭、クラブ活動等活発な活動をしている。 公民館の管理運営を統一することで行政の公平性につながると思います。綾川町全体としての公民館活動の充実を図りたい。運営協議会の定着と実働が求められる。
		自治公民館・集会所施設等整備補助	自治公民館・自治集会所の施設整備等に対し補助金を交付するもの。本年度は、施設修繕については、精華、猿飼、共栄、矢坪、万屋、山添、備品購入に対しては宮地、主基、視聴覚機材については池の浦、堂谷、大塚、大山田の各自治公民館・集会所に補助金を交付した。	補助事業は地域の施設を管理していくため必要である。 自治公民館活動にも大きく温度差があり、見直しの時期に来ている。
		自治公民館連絡協議会補助・モデル自治公民館補助	自治公民館連絡協議会に定額の補助金を交付する。また、モデル自治公民館には教育委員会から直接補助金を交付するもの。	モデル公民館の認定は、地域の活動を活性化するのに役立っている。補助金については申請内容と結果報告書を十分審査する必要がある。

生涯学習課	公民館施設整備事業	西分南部公民館耐震診断	体育館棟の耐震診断及び補強計画の検討を行った	災害時の避難場所に指定されており、工事は必要である。 施設整備は、順調に計画、実施されている。改修後の経過についても見守っていく必要がある。
		昭和公民館耐震補強工事・駐車場舗装工事	公民館耐震補強工事については、プレス3箇所、耐震壁3箇所の設置、外壁改修及び調理実習室改修を行った。また、駐車場舗装工事については2314㎡(59区画)の舗装を行い併せてフェンスを設置した。	
		陶・滝宮公民館調理実習室改修工事	陶、滝宮公民館の調理実習室に調理台を新設(IH導入)し併せて内部改修を行った。	
		羽床公民館音響設備改修工事	館内非常放送設備の改修を行った。	
図書館管理運営事業	図書館管理運営	平成21年度においては、綾上分室整備に伴い、移転等の準備作業と平行しての管理運営となった。3月初旬から約1ヶ月間は休館とする。	抜本的な見直しが急務である。	
図書館施設整備	生涯学習センター新築工事基本・実施設計	生涯学習センターの設計業務を実施した。生涯学習センターは図書館と資料館の機能を併せ持つ施設で役場東側の旧 橋輝跡地に整備する計画である。(平成22~23年度)	子供の読書意欲を向上させること、文化財等の保存、展示ができること等から、生涯学習センターの施設整備は早急に行うべき。また、その位置については交通の便が重要と思われる。	
	図書館綾上分室改修工事	綾上支所の事務所の一部を間仕切りし図書館の綾上分室として利活用を図る。2月末に竣工予定。工事完成後図書館の書籍等に移し4月1日から供用開始する。これに伴い現在の図書館は当分の間休館とする。	地域の文化の拠点として新しい生涯学習センターが期待される。	

生涯学習課	文化財保護事業	小坂池発掘調査報告書作成	平成20年度の発掘調査により出土した遺跡の記録や出土品に基づき調査報告書を作成している。遺跡は主に窠体で平安時代のものである。	文化財の保護は歴史を後世に伝えるためにも大事な事業であるので教育委員会で取り組んでください。生涯学習センターで文化財の展示照会コーナーを設置するのもよいと思います。文化財についての中期的な取り組みは地域の文化の活性化につながるものであり地道に進めてほしい。
		林が谷池発掘調査	土地改良事業実施に伴い発掘調査を行った。遺構、遺物(灰と須恵器)出土、10世紀ごろのものと考えられる。調査に基づき報告書を作成している。	
		木造十一面観音立像保存事業	国指定の重要文化財であり、所有は堂床自治会であるが、町が管理している。今年度文化庁から指摘を受け収蔵庫の雨漏り修繕を行う。	
		念仏踊り保存会補助	念仏踊り保存会に対し定額の補助金を交付するとともに出場した踊り組みに活動に対する補助金を交付する。	
		文化財保護協会補助	文化財保護協会に対し定額の補助金を交付した。協会の活動としては臨地研修が主なものである。	
		お田植えまつり交流会参加	お田植えまつり保存会が岡崎市の悠基斎田と毎年交流しておりこの交流会に教育委員会の職員が参加している	

生涯学習課	保健体育総務	ゆる体操講座開催事業	教育委員会が主催して講座を開き県外から講師を招聘してゆる体操の普及に努めているものである。すでに4年間継続している。	各事業、団体への補助金交付の見直しが必要だと思います。補助金については内容、実績、実態を考慮して、充実発展に向けて有効活用をめざしてほしい。 町民一人1スポーツということから、町民に広く呼びかけ学校施設等を開放して利用しやすくするべきである。
		町体育協会補助	体育協会に対して定額の補助金を交付する。	
		町スポーツ少年団補助	スポーツ少年団に対して定額の補助金を交付する。	
		学校施設開放事業	学校施設(主に体育館)を社会体育関係団体に夜間休日等解放している。また、廃校となった旧小学校の体育館等も同様。	
		町民ゴルフ大会補助	商工会主催の町民ゴルフ大会に対し教育委員会から定額の補助金を交付するもの	
生涯学習課	保健体育総務	幼児体操教室開催	ふれあい運動公園の体育館、プールを利用し、就学前の幼児(4歳児、5歳児)を対象に幼児体操を指導する。	幼児が楽しみながら学べる教室になっています。幼児期の子供の遊びと活動を充実させることは必要であり、親子参加も充実させてほしい。
		町民綱引き大会開催事業	自治会対抗の綱引き競技大会である。2月28日(日)を予定している。参加チーム数は大人52チーム子供9チーム	スポーツの大会は人気があり、町民参加で親睦も深められている。大会開催要項等を広報等で広く周知することが必要。町民のスポーツ熱を高められるイベントの実施を目指したい。企画の工夫がさらに必要である。
	スポーツ大会管理運営	オールナイトソフトボール大会開催事業	5月3日～4日ふれあい運動公園野球場においてソフトボール大会を開催した。参加チームは36、出場選手518名	サイクルードレース大会は、歴史があり、県下一円からの参加で自転車競技の普及につながっている。町民も参加できる種目を検討する必要がある。
		サイクルードレース	10月11日(日)綾山湖(田万ダム)周回道路で自転車競技大会を開催した。約130名の選手が参加したが町内の選手は一人もいなかった。	